

ELLE DECO

TOKYO
DESIGN FESTIVAL
SPECIAL!

8つのクリエイター集団にみる
東京仕事場事情

エル・デコ
12月号 DECEMBER
NO.63 2002 1,530YEN

10周年記念 連続大型付録
完結編・21世紀モダンデザインの誕生
椅子の本 ⑤

狭くてもおしゃれに暮らす
ヨーロッパのコンパクトキッチン

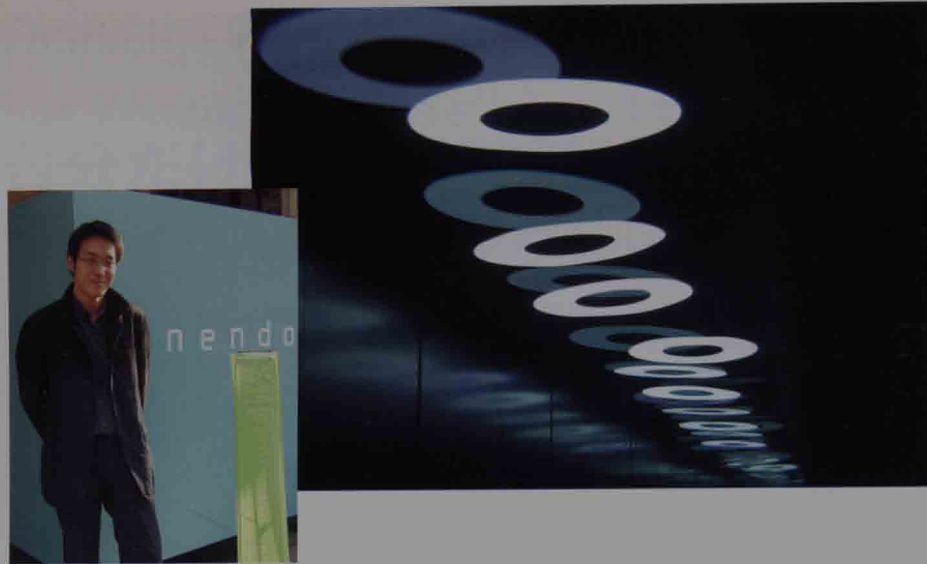


LA/NY/PARIS発のトレンド
トラッドを遊ぶ
NEW TRADITIONALISM

TOKYO DESIGNERS BLOCK 2002

3年目の今年も各国のデザイナーが東京に集結。100を超す会場で意欲的なイベントを開催

プロもアマも、国籍も関係なく、さまざまなデザイナーが一堂に会するTDBも3年目。今年もそのストリートをベースにしたハブニングの性格は変わらないものの、青山通りにSPUTNIKの大きなドームが出現したり、青山エリアに日本初の「VELO TAXI」がお目見えしたりして、さらに認知度が上がったことは確実。各展示にもユニークなものも多く、デザイン都市・東京の多様性を感じさせた。



nendo

原宿の明治通り沿いに小さなブースを作っていたのが、今年大学院を卒業したばかりの若手デザイナー佐藤大(写真左)率いるnendo。今回展示した有機ELシートを発光体に使ったペンダントライト「Al(Pb)_lumi」は、先日「第15回コイズミ国際学生照明コンペ」で見事金賞を受賞した作品。今後の活動が楽しみです。



今年のTDBでとくに目立っていたのが、会場と会場を結ぶ人力の「VELO TAXI」と、青山界隈を走り回っていたジャガーのラッピングカー。また、SPUTNIKのドームや「RE-FOREST」展の会場となった東京都庭園美術館などでは、連日TDBのオフィシャルイベントが催された。

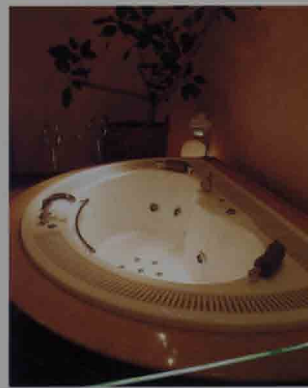
青山マンション

廃屋状態だった2階部分がTDBの展示会場に大変身。コーナーごとに多種多様な展示が行われ、大勢の人が詰めかけた。大塚ノリユキ(写真右)は鏡によって風景を反復させ、断片化された都市風景を映し出す「霧の中の風景 vol.2 倒影」という作品を発表。また塩見一郎と山本英律子によるスピンオフは、洗面所があった場所などの狭い空間を使って照明作品の発表を行った(写真左)。



ジャクソン エスピー アイ

10月にイタリア・ボローニャで開催されたチェルサイエ(国際バスルーム関連見本市)に日本で初めて招待され、そのデザインや機能性が世界的な評価を得たバスタブ、Abbraccio 2G(308万円)。ジャクソン エスピー アイではこのバスタブを中心に据えた展示が行われた。同製品の凱旋お披露目ということもあり、大きな注目を集めた。(©jaxson)



DESIGN IS DESIGN + 間中木工所

昨年はhhstyle.com前でグリライイベントを行ったデザイン集団、デザインイズデザインが、今年もTDBに正式参加。間中木工所と組んでの木工家具の新レベルのお披露目をラ・プラスにて行い、椅子にもなる犬小屋 kennel chair(写真下)と子供の身長を測れる棚 height rack(写真右)などを発表した。共に素材はMDFで、カラーオーダー可能。(©間中木工所)



ZERO GATE

ZERO GATEのウィンドーをTDBが占拠! ZERO GATEにある各ショップのマネキンに交じってジェームズ・アーヴィン、ヨナス・デーモンなどの数々の家具がディスプレイされたのだが、実はこれらの家具、「TDB AUCTION」の出品作品なのだ。新旧の名作家具が格安で購入できるかもしれないチャンスとあって話題を呼んだが、さて、見事手に入れたのは誰?

AIBO Creative Crew

今年もAIBOがTDBに登場。今年もSPUTNIK PADにて、エンターテインメントロボットAIBO「ERS-210A」の今冬限定発売の新品色(パーガンディレッドとスノーホワイト)が、AIBOを乗せて遊べるAIBOスピードボード「ERA-201TP2」(ERS-210/220シリーズ対応)と共に紹介された。かわいさには訪れた人も思わずみまくり。(©AIBO インフォデスク)



エル・ス渋谷西武店

渋谷西武の「ヨウウィンドー」にはクラウドイオ・コルッチの新作のシェルフCXCを使っているディスプレイが登場。このシェルフ、切れ目同士を組み合わせると自由な形で使うことができると、なかなかの優れたもの。パーツの長もいろいろあり、色もパステルカラー、ビビッドカラー、木目の濃淡など多数取り揃えられている。丸い穴の開いたパーツなどにはポップな雰囲気もたっぷり。

CIBONE Aoyama

期間中大活躍した「VELO TAXI」のCIBONE号も銀座に、お祭り気分いっぱいだった店内。期間中は形見一郎(写真右)の蠟燭でできたインスタレーション作品を展示。所々で光が透けて見えるのが美しい。また、クリストフ・ピエ(写真左)のデザインによるアルテラノの新作発表も行われた。ピエが懸掛けているのは今回世界に先駆けてのお目見えとなった新作、PEOPLE SOFA。(©CIBONE Aoyama)



HIZUKI

昨年レストラン&バー「イチイ」の明かりと食をプロデュースして話題となったHIZUKIが「Entertaining with Light」と題して、新作照明の発表会を行った。アルコールランプを使っている照明器具もある一方、ガラスや和紙、籐などを使った小さいサイズのペンダントライトが多数出展された今回。風鈴を思わせるような手前のラインの入ったガラスのペンダントライトは各4万円。(©HIZUKI)



SEMPRE 青山

シンガポール出身のクリストファー・ト(写真)は、ドイツで学んだ後、写真家やライターと共にインターナショナルブランドantを設立、現在ヨーロッパを中心に活躍中のデザイナー。今回のTDBではSEMPRE青山で新作のカラフルなキャンドル、suite uto(輪5個、芯1個のセットで3,000円)を発表した。(©SEMPRE 青山)

